

令和 7 年度 「会計年度任用職員の報酬改定について」に係る交渉の概要

1 交渉団体

鎌倉市職員労働組合・鎌倉市職員労働組合現業職員評議会

2 交渉回数

令和 7 年 12 月 23 日から令和 8 年 1 月 28 日まで 4 回

3 市の提案及び職員組合の主張と合意内容

項目	市の提案内容	職員組合の主な主張	合意内容
会計年度任用職員の報酬改定	近年の最低賃金上げや物価の上昇を踏まえ、全市に会計年度任用職員の報酬改定についての照会をし、報酬改定の要望があった職について、同職種の均衡及び他自治体等との報酬水準比較の結果を踏まえ条例施行規則別表 3 に定める 23 職種について実施する。	会計年度任用職員の報酬額が現に適正であるかを調査し、近隣市等との均衡等を見極め上げるか否か判断して欲しい。 また、所属によっては賃金引き上げの必要性を実感できていない場合もあると考えられるため、職員課から適宜声掛けを行うよう求める。	市の提案どおりとする。 今後も最低賃金や近隣市町村との均衡など注視していくとともに、適切な水準とするよう配慮することとする。